

イメージしてください。

「田中麗奈さんのナマ写真」と「田中麗奈さんの印刷物」。

持っててうれしいのはどちらでしょう。

デジカメで撮っても、やっぱり「写真」がいいな。



あなたは、写真を捨てたことがありますか。あるとしたら、よほどの大失恋かな、そうとうショックな出来事だったに違いありません。写真って不思議です。遠足や誕生日会、一緒に写るだけでドキドキした。よかったら、写真をください。一枚の写真をもらっただけで、天にも昇る気持ちだった。手帳には友達のプリントシールがいっぱい、でも本命の彼氏や彼女は必ず写真で持ってる。それは絶対に、写真でなきゃ。

写真でなきゃならない、ひとへの想いがあります。写真でなきゃならない、人生のシーンがあります。どうしてかと考えれば、それはいつまでも鮮やかに、色褪せてほしくない思い出だから、でしょうか。それよりもっと深く、写真を大切なひとの分身のように思う私たちの気持ちがあるから、でしょうか。そんな、写真に託された信頼と愛情に、フジフィルムは何にもまして仕事の責任と喜びを感じます。だからこそ磨きをかけてきた、フジカラープリントの「超高画質」であり「保存性」です。写真にする、それは生涯色褪せない思い出にすること*。

デジタルカメラで撮った映像も、フジカラーのお店で美しい「写真」にすることができます。銀塩写真と同じ方式のフジカラープリントですから、画質も保存性も、もちろん写真そのものです。画像の入った記録メディアをお持ちになり「デジカメプリント」とご注文ください。パソコンも、出力の手間もいりません。フィルムと同じ感覚でお申し込みいただくだけの手軽さです。デジタルカメラのメリットのひとつは不要な映像をかんたんに「消去」できること、ですが、消したくない思い出や大切なひとの映像だったら、やっぱり「写真」で残したいですね。

国境やことばを越えたコミュニケーション。それが、image。人間の知的精神的活動が発達するかぎり、imageの創造と蓄積は加速度的に拡大しつづけるでしょう。私たちは過去に例のない質と量と速度の「imageの世紀」を、すでに迎えています。光学、化学、電子工学から人間を知る認知科学の領域まで。「imageを科学する」世界的フロンティアとして、フジフィルムは21世紀のメインストリートを進みます。



VOL. **FUJICOLOR**
デジカメプリント
FUJIFILM
I&I-Imaging & Information
www.fujifilm.co.jp

imageする会社。 **FUJIFILM**

*フジカラープリントの暗所保存性(アルバム等に保存)は100年以上、明所保存性(室内照明下に保存)は50年以上です。(実験による予測値)